

## 令和6年度 第3回草津市環境審議会 会議録（概要）

### ■日時：

令和6年10月25日（月）14時00分～16時30分

### ■場所：

草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津） 4階402会議室

### ■出席委員：

小林 圭介 委員(会長)、壽崎 かすみ 委員、樋口 能士 委員（副会長）、山川 正信 委員、横田 岳人 委員、中西 真帆 委員、宮城 成和 委員、村北 奈津 委員、岡 嘉得 委員、柿本 理乃 委員、中井 あずさ 委員、松村 幸子 委員、森 毅 委員

### ■欠席委員：

山田 淳 委員、井上 忠之 委員、奥村 真知子 委員、北脇 芳和 委員、米田 吉克 委員  
磯部 実樹 委員、向井 芳枝 委員、

### ■事務局：

草津市 辻川副市長

環境経済部

環境政策課

温暖化対策室

田中部長、太田専門理事、青木副部長

藤野課長、長江係長、関主査、谷主任

森下室長、津田係長

### ■傍聴者：

1名

### ■議題等：

審議事項

草津市の良好な環境保全条例施行規則の一部改正について

次期草津市地球温暖化対策実行計画素案について

その他

議会における資料について

## 1. 開会、副市長挨拶

---

本日ここに、令和6年度第3回草津市環境審議会を開催するにあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員各位には、大変お忙しいところ御出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、報道等で御承知のとおり、過日、本市北山田町沖500メートル付近の琵琶湖に油膜が浮いているのが確認されたと、滋賀県から発表がございました。本市では、北山田浄水場の取水口が近くにあったことから、オイルフェンスを設置するなど、迅速な対応を行ったところであり、流出元は不明ではあるものの、幸いにも魚や利水への影響は確認されていないとのことでした。

本市においては、近年、重大な環境被害は確認されておりませんが、日ごろから工場・事業所等における環境法令の規制基準の遵守状況の確認を行うとともに、適切な指導や啓発を通じ、環境汚染等の未然防止に努めているところでございまして、引き続き、市民の皆様の健全な生活環境の保全に努めてまいり所存でございます。

本日は、次第にもございますように、水質汚濁防止法施行規則等の改正に伴う「草津市の良好な環境保全条例施行規則の一部改正」および「次期草津市地球温暖化対策実行計画素案」について、委員の皆様方に慎重かつ活発な御審議をいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、本日お集まりの皆様方の御健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2. 議事概要

---

### (1) 諮問

・汚水に係る規制基準の改正について

### (2) 審議事項 草津市の良好な環境保全条例施行規則の一部改正について

資料1 : 草津市の良好な環境保全条例施行規則の一部改正について

参考資料3 : 草津市の良好な環境保全条例

参考資料4 : 草津市の良好な環境保全条例施行規則

### 【事務局】

<資料1について説明>

### 【会長】

事務局の説明に関して御意見等がないようなので、答申の検討に移りたい。事務局から答申案を提示してもらいたい。

**【事務局】**

＜答申案について説明＞

**【委員】**

シャーレで培養し、大腸菌群の個数を数えていたが、改正によりCFUという単位で1ミリリットル当たりの表記となっている。改正によりどのように変わるのか。

**【事務局】**

単位としては、ほぼ同じものである。シャーレで培養した集落数を数えるという手法は同じであるが、細菌の個数ではなくコロニーの単位で数えることになる。立方センチメートルとミリリットルについては、体積換算すると同じであるので、書き方が変わっただけである。

**【委員】**

「3,000個」と「800CFU」は、概ね同じ水準であって、何らかの手段で大腸菌を分けて調べるということか。

**【事務局】**

分析方法が発達し、大腸菌自体と大腸菌群が異なる色のコロニーを形成するようになっており、大腸菌の色のコロニーを計算することで、大腸菌のみの数が出せるようになった。

「3,000個」と「800CFU」の換算については、国において大腸菌を多く排出すると想定される業種について実態を調査し、大腸菌群に対する大腸菌の割合を計算した結果、換算されている数値であるので、同等の基準であると考えている。

**【委員】**

「CFU」は何の略か。

**【事務局】**

コロニー形成単位であり、Fはフォーミング、Uはユニットの略である。

**【委員】**

非糞便性の菌種にカウントされていたものは我々にとって無害であるという認識でよいか。

**【事務局】**

非糞便性の菌種が実際に人体に無害であるかについては、把握しかねる。糞便汚染の有無の把握が根本的な目的であり、本来は糞便性の菌種だけを検査したかったが、それだけを検査する手法がなかったと承知している。

**【委員】**

技術が進歩して、糞便由来の大腸菌だけを特定できるようになったので、それだけを指標とするということと単純に理解してよいか。非糞便性の菌種も有害であれば、それを除いた指標とする必要があるのか疑問である。草津市では非糞便性の菌種による健康影響を考慮して、従来どおりの指標としてもよいのではないか。

**【事務局】**

国の資料によると、非糞便性の菌種は水や大気中に元々存在することなので、自然由来の

ものとして一定量は無害であると思われる。

【委員】

規制基準は法律の改正の都度、規制項目を見直すのか、それとも何らかの判断で規制内容を見直す場合もあるのか。

【事務局】

草津市の良好な環境保全条例は、滋賀県公害防止条例と足並みを揃えている。六価クロムはこの4月から排出基準が厳しくなったが、滋賀県公害防止条例のほうが厳しい状態が継続しているため、市の規制基準も改正していない。

【委員】

滋賀県公害防止条例に準拠しているということか。

【事務局】

そのとおりである。

【会長】

その他意見がなければ、この答申案にて市長に答申させていただく。

－異議なし－

(3) 審議事項 次期草津市地球温暖化対策実行計画素案について

資料2 : 第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト

～草津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）～素案

資料3 : 第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト

～草津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）～概要版 素案

資料4 : 第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト 策定スケジュール

参考資料5 : 次期草津市地球温暖化対策実行計画（第5次草津市地球冷やしたいプロジェクト）素案たたき台に対する意見と対応

参考資料6 : 令和6年度第5回専門部会（R6.10.17開催）での主な意見および対応方針

【事務局】

<資料2について説明>

【委員】

61ページのコラムで、バスも自動車であることから、「例えば、『自動車』や『飛行機』は便利な交通手段ではありますが」温暖化の原因になるということの対比で、電車やバスなどの公共交通機関を使うというのは、文章としておかしいと思う。

57ページのコラムで、市街地の住宅で樹木が植えられている光景を見ることが少なくなっています。」「この傾向は、個人の住宅だけでなく、公園など公共の場所でも同様です」とあるが、公園に木を増やすことが書かれていない。

63ページのエコアクションポイントについて、「家族や友達と一緒に参加して、楽しくポイントを貯めましょう」とあるが、一人暮らし世帯の比率が高いので、表現を考えたほうがよい。

**【事務局】**

61ページのコラムの用語については、御指摘を踏まえ、見直しをさせていただく。

63ページのエコアクションポイントは、周りの方も誘っていただき、少しずつでもいいから参加いただきたいという呼びかけの趣旨の言い回しであり、表現を今一度させていただく。

**【会長】**

57ページのコラムは、1本の木でも炭酸ガスを吸収し、光合成の効果があるといった、緑の効果を示しているものである。

**【委員】**

全体的に特に問題はない。この内容でいいと思う。

**【委員】**

CO2の「排出」「放出」の使い方で、「放出」という文言が残っている箇所があったので、個別にお話しさせていただく。

23ページの京都議定書の発効について、2005年2月に発効であるので、文章としては「発効から20年余りが経過し」程度の表現としたほうがよいと思う。

**【事務局】**

御指摘のとおり修正させていただく。

**【委員】**

概ね意見はない。61ページのコラムで「ウォーキング」や「まち歩きキャラバン隊」という言葉が使われているが、どのようなイベント、活動なのかわかりにくいので、もう少し詳しく書いてもらいたい。

普段いかに歩くかが大事で、イベントを前面に出すよりも、日々の歩くことをもう少し強調できないか。自分の体を丈夫にすることも大事だと思うし、「健幸」にもつながるのではないか。

**【事務局】**

61ページの「ウォーキング」や「まち歩きキャラバン隊」については、補足などを記載するように検討させていただく。

身近な歩く取組も重要だと認識しており、62ページのエコアクション推進事業において日々のちょっとした取組でもポイントを獲得できる仕組みにできないか、イベントに限らず日々の何気ない行動が脱炭素に繋がることを後押しできるような政策となるよう見直しを検討している。

**【委員】**

この計画については、非常に難しいなと受け止めている。市民にとってわかりやすくなるよう、概要版の工夫が必要だと思う。

重点アクションと取組項目の違いを御説明いただきたい。重点アクションの中で草津らしさが二つあると思うが、その一つが愛する地球のために約束する協定推進であり、協定者数を90者にするために、草津市の環境に優しい事業計画書を活用いただいたらよいと思う。

もう一つは、エコアクション推進事業であるが、6年間で1,800世帯となっており、家庭版ISOは10年間で8,000世帯に取り組んでいただいたことを踏まえて、今後どのように進めていくのか十分に検討いただきたい。

具体的に計画を進める手法をどのように考えておられるのか。例えば、庁内プロジェクトのようなチームを作って進めていくようなことが重要であると思う。

#### 【事務局】

自治会や市内企業にこの計画を説明する際には、相手方の求める内容やこちらが伝えたい内容に合わせて、コラムなど必要なページを抜粋するなどして上手に活用しながら、各ステークホルダーに訴えかけていきたい。既にゼロカーボンシティのこども向けの副読本なども制作しており、次期計画の内容を反映した副読本への刷新も検討してまいりたい。

取組項目は国のマニュアルにより排出5部門に分けて整理したもので、取組項目のうち、特に市民の皆様、市内事業者の皆様と一緒に取り組んでいくものを抽出したものが重点アクションである。うち、エコアクション推進事業は市民の皆様と、愛する地球のために約束する協定推進は市内の事業者や団体の皆様と一緒に進める取組として、草津市らしさを含めて特に目玉となるものなので、積極的に取り組んでまいりたい。

愛する地球のために約束する協定締結者数をどのように増やすかについて、国において地域脱炭素化促進事業に関する内容を計画に盛り込むとされた中で、協定締結者の建物の屋根などを対象として定める旨を予定している。国や県において、再エネを精力的に導入するものとして市町村が指定するところに対し、既に優遇措置が設けられており、今後拡大される予定であると聞き及んでいる。協定締結者に対するインセンティブを設け、一緒に再エネを導入し、取組を進めるよう呼びかけることで、協定締結者90者に向けて取り組んでまいりたい。

エコアクションポイントは、現計画でも重点アクションとしており、その目標は年150世帯で設定している。いきなり500世帯、800世帯といった高い目標は困難であるので、現計画の目標値の2倍である300世帯とさせていただいた。

計画を進める体制については、草津市地球冷やしたい推進協議会の活動を活性化し、行政と連携しながら取組を推進してまいりたい。プロジェクトチームのような体制については、御意見として検討させていただく。

#### 【委員】

草津市のCO2排出量の計算方法は、県の排出量を按分するのか。参考資料に計算方法を記載したほうがよいのではないか。資料編3に算定方法の記載があるが、この県域のものを草津市に読み替えれば算定できるのか。

#### 【事務局】

132ページは県域の算定方法の概要を掲載しており、ここから床面積や世帯数などで按分される。単純にいかない点も厳密にはあるので、記載方法を検討させていただく。

#### 【委員】

この計画は、家庭の主婦としてなかなか難しいと感じる。リサイクルという言葉はよく聞くと

思うが、リサイクル自体がCO<sub>2</sub>を排出することを御理解いただけていないと思うので、考えて物を買うことの大切さを訴えていきたい。

**【事務局】**

環境を「買う」ところから考える点で、流通全体でCO<sub>2</sub>の削減について考えることが重要なので、例えば、ごみ問題を考える市民会議の皆様とも連携しながら計画を進めてまいりたい。

**【委員】**

計画を市民に浸透させることが重要なので、引き続き、市民への呼びかけをお願いしたい。

**【委員】**

計画の冊子は、どのような場面で、誰の手元に届くのか教えてもらいたい。

**【事務局】**

イベントでの配布もあるかと思うが、具体的な取組の周知・啓発のため、自治会などでの出前講座において関連ページや概要版などを活用してまいりたい。

**【委員】**

この計画を見て「やりたい」とは感じにくいと思う。「あれをやめましょう、これをやめましょう、頑張って少なくしましょう」と言われるよりも、「これをもらいにいきましょう、こうすればお得です」と言われるとやる気が出ると思うので、そのように伝えられたらよいのではないか。生活に密着したことであれば、興味のない人でも意識をせざるを得ないと思う。

**【事務局】**

行政の計画なので、これを読んでやってみたいとなかなか思えないのは、御指摘のとおりである。計画において表現することは難しいかもしれないが、目玉の一つであるエコアクション推進事業については、チラシにおけるアピール方法を変えるなどの工夫を重ねてまいりたい。

**【委員】**

歩くことでの健康的な暮らしをと考えたときに、クーリングシェルターの利用を推進されているようなので、お年寄りにもわかりやすいよう主なクーリングシェルターをピックアップしていただき、クーリングシェルターで休憩し、近所の方と交流し、帰るといったことを、計画でなくてもよいのでどこかで提案いただけると、一人で孤独を抱えがちな方の生活にツールの一つとして加えることができると思う。

**【事務局】**

草津市の場合は、特別警戒アラートが発令されてなくてもクーリングシェルターを開放しているので、クーリングシェルターの場所について、年配の方も含めて市民の皆様にもわかりやすく伝えられるように工夫をしてまいりたい。

**【副会長】**

濃淡がはっきりしてわかりやすい。特に重点アクション、その中でもエコアクションポイントが強調されており、今日もチラシの作成が話題となっていて、良い方向に進んできたと考えている。

一方で、高い目標を設定すればよいという話ではなく、例えば太陽光に関しては、県と足並みを揃えたことも良い判断だったと思う。太陽光は既に導入が進んでおり、新しい技術が出てきて

からといった部分もあるので、県と足並みを揃えたことは賢明だと思う。

計画の進捗をチェックする話題において、組織を作るとのことだったが、94ページの事務局とは何を指すのか。効果的に計画を実行し、進捗をチェックするためには、市全体で意識を共有できる組織作りは大事だと思うが、この事務局と推進本部はどのような組織を想定されているのか教えてもらいたい。

**【事務局】**

事務局は環境経済部温暖化対策室を想定している。推進本部は草津市地球温暖化対策推進本部であり、草津市の部の代表で構成する会議である。市の内部で大枠の議論をする場として、今後も活用していきたい。新たに組織を作るのではなく、既存のものを着実に運用してまいりたいと考えている。

**【副会長】**

計画を協力に実施していくためには、今の課の人員の強化や特別なプロジェクトチームの設置というような、本気度を見せてもよいかと思う。一つの意見として納めていただきたい。

草津市のCO2排出量について、今後、エコアクションポイントなど草津市で取り組んだ努力は、推計値に反映されるのか。このように取り組んでこれだけ削減できたという積算量だけでも提示しないと、おしなべて県全体で減っている結果として推計量しか出てこないのでは、少し寂しい。我々の努力の結果がわかるような数値を公表できないか。

**【事務局】**

個々の取組の成果が推計量に反映されていることを示すのは、正直大変難しい。

しかし、専門部会の議論の中で、草津市として示せるところは示すといった御意見をいただいているので、例えばエコアクションポイントに参加した1世帯あたりのCO2削減量を年間0.097tと記載した。これは、省エネ家電に買い替えた場合に何tの削減になるかを積み上げたうえで、平均したものである。目標の300世帯が取り組んだ結果、推計として家庭部門からこれだけ確実に減っているだろうとお示しできると考えている。市民の皆様の頑張りを共有することで、取組の輪を広げていきたい。

**【副会長】**

これほど努力したのにこれだけしか削減できないといった結果しか出ないと思う。だからといって、公表しなくていいとは思わない。せつかく積み上げた結果なので、ショックな数字であったとしても、逐次報告したほうがよいと思う。

**【委員】**

先ほどの御意見にもあったが、やろうという気にはならない。重点がこれだけたくさんあると重点になってない。もう少し要点を絞って、この下にこういう取組があるというように広がっていくと、読み込んでもらえるかと思う。概要版に期待している。全世帯に配布するのか。

**【事務局】**

概要版はこれまでから全戸配布はしていない。各自治会などの出前講座などで市民の方にお渡ししていたが、本日、御指摘をいただいたので、周知方法について、全ての市民の方に渡すよう

にするかどうかを含めて検討してまいりたい。

**【委員】**

季節に応じて取組は異なると思うので、四季折々の市民への呼びかけは、チラシのようなものを広報と一緒に配布してもらえればと思う。

**【委員】**

景観計画の改正の際に、景観に関心を持ってもらうにはどうすればよいかを議論した。アンケートの結果、広報誌が一番となっていたので、広報誌に折込みを入れることを提案した。エコアクションポイントのアピールのために広報誌にチラシを折り込むことは、市民へのアピールとして非常によいと思う。

公共交通に関連する事業は、都市計画部局との協働が必要だと思う。本気でやるなら、どのようにプロジェクトを推進するかを検討する必要がある。

**【委員】**

温暖化対策室が関係部署をとりまとめ、働きかけることが大事である。公共交通に関しては、マイカーの人は公共交通に乗るのか、電気自動車ならよいのか、はっきりさせる必要がある。また、バス代が高すぎる。京都の市バスは220円で結構な距離を乗れる。草津市が補助することで、市民が利用しやすくなるよう誘導できるとよい。予算の話もあったが、お金がなくても動ける温暖化対策を率先してもらいたい。

**【副会長】**

予算の関係で、できること・できないことはあるかと思うが、部局間で連携できないことがないように、事務局が協力に推し進められるような組織作りを検討いただきたい。

**【会長】**

94ページの進捗管理の記載では、環境審議会が計画を審議したうえで、評価・チェックをすることになっているので、事務局の体制強化よりも、まずは各委員において責任を持っていただく必要がある。その他何かあれば事務局にお伝えいただきたい。

—異議なし—

(4) その他 議会における資料について

参考資料7：ゼロカーボンシティ特別委員会調査研究結果報告書の提出について

**【事務局】**

<参考資料7について説明>

**【会長】**

審議会としての考えを市長に回答することが想定されるが、どのように取り扱うかを含めて御意見を伺いたい。

**【副会長】**

バイオディーゼルの取組は郊外の自治体が多いように思うので、草津市のように集合住宅が多い自治体は、回収が難しいと思う。民間に委ねるとしつつ、積極的に取り組む主体があるならば、補助金を出すなどの関与を考えていく程度でよいのではないか。

プラスチックについては、物を購入するとプラスチックはついてくるので、購入を控えてまでプラスチックを減らすとなると、経済活動自体を否定するようなことになりかねない。事業者によるプラスチック削減の努力があって、プラスチックを使用しない製品という選択肢があるなかで、市民が選択するというのが本来のあるべき姿である。今の日常生活では選べないことが多いので、市としてどのように促していくべきか、引き続き検討していきたいという程度の回答でよいと思う。

**【会長】**

バイオディーゼルは、確かに温暖化防止に直接、関わる取組であると思うが、だれがどのように廃油を集めるのかという問題がある。

プラスチックごみをゼロとすることについても、はたしてゼロにできるのかを含めて御意見をいただきたい。

**【委員】**

報告書の記載内容の多くは、既にこの計画に盛り込まれているので、審議会としては、議会の意見も踏まえて計画を策定している旨を回答するだけだと思う。議会から十分検討してほしいと言われると、審議会の場で検討もできるが、どのような位置付けでこの文書を受け取ってよいかわからない。

**【事務局】**

ゼロカーボンシティ特別委員会から意見をいただき、可能な限り計画に反映している。報告書については、審議会の御意見をいただいたうえで、市として議会に回答させてもらいたい。

**【委員】**

審議会としての意見をまとめて回答したほうがよいということか。

**【事務局】**

そうである。審議会からの御意見をそのまま議会へ回答するのか、審議会の御意見を踏まえた市の考えとして回答するのかについては、検討が必要である。

**【委員】**

審議会としての意見を回答するならば、依頼を受けて回答する形式でないといけない。

**【事務局】**

計画の骨子は専門部会で審議するとされているので、報告書への意見については審議会での審議事項として出ささせていただいていない。計画の策定は審議会へ諮問のうえ、審議いただいているので、議会への回答にあたり、お願いの範囲ではあるが御意見をいただきたい。

議会としても報告書の内容を計画に反映してほしいとのことなので、審議会の御意見を伺ったうえで、反映の結果を回答させていただく。

**【会長】**

報告書にて指摘されている事項については、計画に一定包含されている趣旨で回答したいと思います。ただし書きで用語などを修正する箇所がある旨を付して回答する方向で了承を得たい。

－異議なし－

### 3. その他

---

#### 【事務局】

今後、庁内における議論や議会への回答を進めさせていただく。事務局から提案させていただくが、1月に審議会の開催を予定であるスケジュールをお示ししていたものの、軽微な修正など計画の方向性が大きく変わることがなければ、会長一任とさせていただきたい。今後、どのような意見があったかなどの情報を共有させていただく。

#### 【委員】

資料4において、1月に2回の審議会開催予定があるが、おそらく、修正があった旨の報告と市長への答申ということかと思うが、いずれも会長一任でよいかという提案と理解してよいか。

#### 【事務局】

そのとおりある。

－異議なし－

### 4. 閉会

---

#### 【副会長】

当たり前のことだが、我々が審議会委員として責任を持って議論しなければならないことに改めて気づかされた。今後とも、何らかの形で温暖化対策の推進に貢献できればと思う。引き続きよろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

これをもって、令和6年度第3回草津市環境審議会を閉会させていただく。